

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2021年5月13日、ナノキャリア株式会社は、2021年3月期通期決算を発表した。

四半期累計 (百万円)	20年3月期				21年3月期				21年3月期 (進捗率) 通期会予	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
売上高	146	294	435	553	129	193	249	313	92.7%	338
前年比	247.8%	34.7%	29.6%	11.3%	-11.5%	-34.2%	-42.8%	-43.3%		-38.9%
売上総利益	125	239	362	475	120	171	219	275		
前年比	462.4%	35.0%	31.1%	14.0%	-4.1%	-28.3%	-39.6%	-42.1%		
売上総利益率	85.8%	81.4%	83.2%	85.9%	93.0%	88.7%	87.9%	87.8%		
販管費	625	923	1,295	1,581	334	682	1,079	1,578		
前年比	-5.7%	-16.5%	-26.0%	-28.8%	-46.5%	-26.1%	-16.6%	-0.2%		
売上高販管費比率	-	-	-	-	-	-	-	-		
営業利益	-499	-684	-932	-1,106	-214	-510	-860	-1,303	-	-1,495
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-		-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-		-
経常利益	-540	-734	-969	-1,144	-218	-527	-895	-1,279	-	-1,496
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-		-
経常利益率	-	-	-	-	-	-	-	-		-
四半期純利益	-446	-897	-1,137	-2,010	-219	-2,082	-2,451	-2,836	-	-3,043
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-		-
四半期利益率	-	-	-	-	-	-	-	-		-

  

四半期 (百万円)	20年3月期				21年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	146	147	142	118	129	64	56	64
前年比	247.8%	-16.2%	20.1%	-26.8%	-11.5%	-56.7%	-60.6%	-45.5%
売上総利益	125	114	123	113	120	51	48	56
前年比	462.4%	-26.6%	24.2%	-19.8%	-4.1%	-55.0%	-61.4%	-50.3%
売上総利益率	85.8%	77.0%	86.9%	95.8%	93.0%	79.9%	85.2%	87.2%
販管費	625	298	372	286	334	348	397	499
前年比	-5.7%	-32.7%	-42.3%	-39.0%	-46.5%	16.6%	6.9%	74.2%
売上高販管費比率	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	-499	-184	-248	-173	-214	-296	-350	-443
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	-540	-194	-235	-175	-218	-309	-368	-384
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益率	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益	-446	-450	-241	-873	-219	-1,863	-369	-385
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期利益率	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

\*会社予想は直近の値。

\*前年比が100%を超える場合は-として表示。

## 販売費及び一般管理費の内訳

四半期累計 (百万円)	20年3月期				21年3月期			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
研究開発費	492	695	957	1,152	212	462	760	
前年比	-7.6%	-21.0%	-32.8%	-35.8%	-56.9%	-33.5%	-20.6%	
研究開発費を除く販管費	133	228	337	429	123	220	319	
前年比	1.6%	0.8%	3.7%	0.6%	-8.0%	-3.7%	-5.5%	

  

四半期 (百万円)	20年3月期				21年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
研究開発費	492	203	263	195	212	250	298	
前年比	-7.6%	-41.5%	-51.8%	-47.2%	-56.9%	23.3%	13.6%	
研究開発費を除く販管費	133	95	109	92	123	97	99	
前年比	1.6%	-0.4%	10.2%	-9.2%	-8.0%	2.3%	-9.1%	

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

## 2021年3月期通期実績

- ▷ 売上高：313百万円（前期比43.3%減）
- ▷ 営業損失：1,303百万円（前期は営業損失1,106百万円）
- ▷ 経常損失：1,279百万円（前期は経常損失1,144百万円）
- ▷ 当期純損失：2,836百万円（前期は当期純損失2,010百万円）

当期純損失が経常損失を下回る理由は、2020年7月に実施したアキュルナ株式会社の吸収合併において発生したのれんの減損損失1,553百万円を特別損失に計上したことによる。

## 主要パイプラインの進捗状況

### シスプラチンミセル (NC-6004)

ライセンス先であるOrient Europharma Co. Ltd.（以下、OEP社）と共同でグローバルに臨床試験を推進している。

欧米地域において、頭頸部がんを対象にNC-6004と免疫チェックポイント阻害剤「キイトルーダ®」との併用による第II相臨床試験として2019年7月に投与を開始した。2020年6月、第II a相試験の主要評価項目（キイトルーダ®併用時の推奨用量の決定）を達成した。2020年11月には、欧州、台湾において、第II b相試験を開始した。この試験は、キイトルーダ®単剤との比較試験として実施するものである。

### エピルピシンミセル (NC-6300)

米国で軟部肉腫を対象に第I/II相臨床試験を実施している。対象疾患として第I相パート試験で有効性が示唆された軟部肉腫の一種である血管肉腫にターゲットを絞り、有効性及び安全性を確認する追加試験を実施している。2020年10月には、患者登録が完了した。現在も治験薬の投与を継続しており、並行してデータ解析を実施している。なお、同剤はFDAよりオーファンドラッグの指定を受けている。

### パクリタキセルミセル (NK105)

2021年5月に、日本を含むアジア地域を対象としたライセンス先である日本化薬株式会社（東証1部4272）から、第II相臨床試験結果より、乳がんでの開発を中止する旨が発表された。

### siRNA医薬NC-6100 (SRN-14/GL2-800)

乳がんの約50%で過剰発現する転写因子PRDM14に対するsiRNA医薬NC-6100 (SRN-14/GL2-800) について、治癒的切除不能または遠隔転移を有する再発乳がんを対象に公益財団法人がん研究会有明病院において2020年9月より医師主導第I相臨床試験が開始された。同剤は2020年9月に統合したアキュルナ株式会社と複数のアカデミア研究機関が共同研究を進めてきた核酸プロジェクトの一つである。

## 導入パイプラインの進捗状況

### 遺伝子治療薬「VB-111」

2017年11月にVascular Biogenics Ltd.（イスラエル、以下VBL）から国内の開発および販売権に関するライセンスを受けた遺伝子治療薬「VB-111」について、同社が米国を中心にプラチナ耐性卵巣がんの国際共同第III相臨床試験（OVAL試験）を実施している。2020年3月に、VBLが実施中のOVAL試験に関して、第三者委員会による中間解析において試験継続が推奨された旨が、VBLから発表された。これを踏まえ、同社はOVAL試験に日本から参画する方針を決定し、国内治験開始に向けた各種準備を進めた。2020年11月、国内第III相臨床試験開始のため、医薬品医療機器総合機構に対し治験計画届を提出し、治験実施施設において準備が進んでいる。現在、複数の施設において患者リクルートが開始されており、投与に向けた手続きが進捗している。

2019年11月に同パイプラインの国内開発に関し、遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（カルタヘナ法）に基づく第一種使用規定の厚生労働大臣・環境大臣連名による承認を取得した。

同製剤については、VBLが海外で大腸がん及び膠芽腫の第Ⅱ相臨床試験も進めている。

### 耳鼻科領域における新医薬品等の開発候補品（ENT103）

セオリアファーマ株式会社との間で共同開発を行っている耳鼻咽喉科領域における開発候補品（ENT103）については、国内において中耳炎を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施しており、2019年5月に登録を開始した。新型コロナウイルスの影響等により患者登録が遅れていたが、施設の入れ替えや医師との連携により、患者登録の加速化に努めている。

### Acti-PRP（血球細胞分離機）

2019年4月、株式会社エイオンインターナショナルから「Acti-PRP（血球細胞分離機）」の国内販売権を取得した。産婦人科PRP研究会の会員施設に対し「Acti-PRP」を販売し、あわせて臨床研究を実施している。

## 新規開発パイプラインの進捗状況

パイプライン拡充については、吸収合併したアキュルナ社が進めていた核酸医薬品の研究を継承、推進している。

国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学との共同研究プロジェクトである長鎖非翻訳RNA TUG1に対するASO（アンチセンスオリゴ）医薬は、臨床開発への移行を視野に入れた次期パイプライン候補として、非臨床試験を推進している。同プロジェクトは、日本医療研究開発機構 革新的がん医療実用化研究事業に採択されている。

軟骨の増殖・分化に関わる転写因子RUNX1のmRNA医薬について、2021年4月にアクセリード株式会社と共同で株式会社PrimRNAを設立し、非臨床試験の実施、GMP製造の確立および第Ⅰ相臨床試験の実施に向け、事業を開始した。これは、日本医療研究開発機構 医療研究開発革新基盤創成事業に採択されている。

アキュルナ社が研究を進めてきた核酸医薬品のDDS技術を用いた核酸医薬品開発を行っている。同DDS技術は、核酸医薬品の生体内での搬送上の課題を解決するとともに、従来のDDSの製造工程が複雑であるという課題を解決するものである。アカデミアとの共同研究や企業との協働により新規パイプラインの拡充を推進している。

## 事業開発の状況

2020年7月に、同社を吸収合併存続会社とし、アキュルナ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を実施することを決定し、2020年9月に実施した。これにより、同社パイプラインおよびパイプライン候補が拡充し、今後は核酸分野の開発、mRNA創薬の一環としてのワクチン開発の推進等、シナジーの実現に向けた活動を推進する。さらに、同合併の効力発生を契機に、研究部門と開発部門の連携と研究開発機能の強化を図ることを目的として、研究開発本部を創設する組織変更を行った。

## 化粧品事業の状況

アルビオン社が販売する美容液エクラフチュールおよび薬用美白美容液エクシアALホワイトニングイマキュレートエッセンスIDD用の原材料を供給している。また、アルビオン社との共同開発製品であるスカルプトータルケア製品「Depth」のインターネット販売および美容室でのカウンセリング販売を行っている。

過去の四半期実績と通期実績の説明は、「過去の業績」の頁を参照

## 今期会社予想

今期会社予想 (百万円)	上期実績	21年3月期 下期実績	通期実績	22年3月期 通期会予
<b>売上高</b>	<b>193</b>	<b>120</b>	<b>313</b>	<b>228</b>
前年比	-34.2%	-53.7%	-43.3%	-27.2%
売上原価	22	16	38	
<b>売上総利益</b>	<b>171</b>	<b>104</b>	<b>275</b>	
前年比	-28.3%	-56.1%	-42.1%	
売上総利益率	88.7%	86.3%	87.8%	
販売費及び一般管理費	682	896	1,578	
<b>営業利益</b>	<b>-510</b>	<b>-792</b>	<b>-1,303</b>	<b>-1,804</b>
前年比	-	-	-	-
営業利益率	-	-	-	-
<b>経常利益</b>	<b>-527</b>	<b>-752</b>	<b>-1,279</b>	<b>-1,751</b>
前年比	-	-	-	-
経常利益率	-	-	-	-
<b>当期純利益</b>	<b>-2,082</b>	<b>-754</b>	<b>-2,836</b>	<b>-1,734</b>
前年比	-	-	-	-

出所：会社データよりSR社作成

2022年3月期は売上高228百万円（前期比27.2%減）、営業損失1,804百万円（前期は1,303百万円の営業損失）、経常損失1,751百万円（前期は1,279百万円の経常損失）、当期純損失1,734百万円（前期は2,836百万円の当期純損失）を見込んでいる。売上高の主な内訳は、開発マイルストーン収入、化粧品原料供給収入、PRP事業に係る医療機器販売売上等を見込んでいる。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

## ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

## 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

## 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)